

導入事例 Case study

みきレディースクリニック様

J-MAC
SYSTEM



産婦人科/女性ヘルスケア専門医として、妊活から婦人科がんの検査や診断、女性特有のお悩みなど、なんでも相談できるクリニックを目指す。

神奈川県川崎市にある「みきレディースクリニック」。溝の口駅から徒歩3分という交通の便の良い立地に、2024年7月に開院。「産婦人科のかかりつけ医としてなんでもご相談いただけるクリニック」を目指している。開院にあたり、なぜ「Climis」を導入されたのか、有川 美樹子院長にお話を伺いました。

患者さんの身近な立場で色々な相談にのれる医師に

-- 先生のご経歴および開院までの経緯についてお聞かせください。

福島県立医科大学を卒業後、済生会川口総合病院で産婦人科専門医を取得し、その後、国立成育医療センターと加藤レディースクリニックで生殖医療を学び専門医を取得しました。その後、成城木下病院で周産期・婦人科診療・不妊治療（妊活サポート）に携わり、2024年7月に開院しました。私は小児科クリニックの開業医である母の姿を見て育ったこともあり、患者さんの身近な立場で色々な相談にのれる医師になりたいということが開業に至った一番の理由です。



有川院長と院内設備

当院のコンセプトとしては、ホームページの診療案内に記載していますが、妊活以外にも、妊婦健診、婦人科がんの検査や診断、女性特有のお悩みなど、産婦人科のかかりつけ医としてなんでもご相談いただけるクリニックを目指しています。

-- お母様は小児科医ということですが、先生はなぜ産婦人科医になられたのですか？

元々幼少期より産婦人科医になりたいという思いがありました。女性特有の疾患、妊活や周産期などは女性の医師が診療するのがよいと思っていました。初期研修で色々学んでいく過程では、整形外科の特に小児整形分野にも興味がありましたが、やはり小さい時からの思いもあり産婦人科医を志しました。

-- クリニックの特徴についてお聞かせください。

一つ目として「女性医師によるクリニック」ということです。女性目線で居心地の良い空間づくりを心掛けています。細かな部分の清掃はもち

ろんですが、内外装については若い患者さんも来院されますので、羞恥心に配慮した構造を取り入れています。内装イメージもあまり病院っぽくならないよう白色を使わず、優しい色使いの内装にしています。



クリニック受付

二つ目は「産婦人科領域を幅広く診療できるクリニック」であることです。産婦人科専門医であり、女性ヘルスケア専門医として、困った時のよりどころとして、はじめになんでも相談できるクリニックを目指しています。

三つ目が「生殖医療専門医による妊活サポート」です。合格率も低くハードルの高い専門医の資格ですが、生殖は一番好きな分野でもあります。プレコンセプションチェックをはじめ、子宮卵管通水検査や精液



待合室

検査、治療についてはタイミング法、人工授精といった一般不妊治療を行なっています。他には幅広い女性アスリートのためのヘルスケア外来やポトックスなどもやっており、近隣にお住いの患者様から好評をいただいております。

とても安価に導入できるということが一番の決め手

-- なぜClimisクラウドPACSサービスに決めたのですか？

PACSについては元々必須だと思っており導入を決めていましたが、コンサルティング会社から他社のオンプレミス型とClimisを紹介されました。その日の検査をすぐに見れること、かつ画像枚数を気にせず保管できることをポイントとしていました。

産婦人科領域のエコー検査では画像枚数が非常に多くなりますが、院内のハードディスクでの保管だと容量も大きくなります。他社PACSと比べるとClimisは保管容量の制限もなく、とても安価に導入できるということが一番の決め手です。

またその他としては、当院で採用する電子カルテとも連携実績があるということもポイントでした。



超音波撮影装置

画像表示がスムーズにできることが一番の選定ポイント

-- 実際にご使用されていますが、感想をお聞かせください。

電子カルテとの連携もスムーズですし、ビューア自体もシンプルで使いやすく、画像表示スピードも問題ありません。

また当院ではメディカルスキャニングという画像検査・診断を専門で

行うクリニックと連携をしています。卵巣が腫れているとか、子宮に何かあるとか、そういうときに検査を依頼していますが、撮像したMRI画像のメディアを取り込むことで、診察室でエコー画像と一緒に見れますのでとても重宝しています。あるクリニックでは画像は取り込めず、レポートしか見ていないというケースもあるようですが、Climisでは問題なく画像を取り込み、診察室の端末で見れていますね。

クラウド型PACSは保存容量の心配、更新時の課題を解決できる

-- クリニック向けPACSについて、導入前に感じていた課題や懸念点があればお聞かせください。

以前勤めていた病院ではオンプレミス型であったため、保管容量が足りなくなりどうしようかという問題はありました。PACSに限らずシステム全般について言えることですが、更新をどうするか？ 既存システム



Climisでの画像参照

からのデータ移行は？ 使い勝手は？ というような問題が必ず出てきます。電子カルテもPACSもクラウド型を導入した理由は、これらの問題を解決できることが大きいですね。

懸念点としてはクラウド型ということで、インターネットの回線やネットワークの障害が起きた場合の心配がりましたが、導入から半年経ちますが大きな不具合もなく使用できています。

-- 保守サポートについてはいかがでしょうか？

本社が札幌ということでは不安もありましたが、担当営業の方へのメールもすぐに返信がありますし、サポートセンターへの電話もすぐに繋がるので問題ありません。

iPadとノートPCでも画像を見れるようにしたいので設定をしましたが、うまくいかなかったので営業の方へ連絡したところ来てくれることになり、この辺の営業対応についてもとてもありがたいですね。

-- 今後、搭載されると良いと思われる機能やClimisに期待することがあればお聞かせください。

機能的には今の機能で十分です。クリニックの開業や経営は非常に厳しい立場をむかえていると思います。なかなか厳しいとは思いますが、利用料の値上げはせず、この価格を維持していただければと思っています。

-- 最後に導入をご検討中の方へ、Climisを薦めるポイントがあればお願いします。

PACSや画像ビューアが苦手な方でも直感的に使えるシステムだと思いますし、導入から大きな不具合もなく画像を参照できています。何よりランニングコストが他社に比べてとても安価です。電子カルテもクラウド型が増えていると思いますので、PACSの導入を検討されている先生へは、ぜひクラウド型をお薦めします。

取材協力:みきレディースクリニック
(2024年11月 取材)